

# 津幡の空から

石川県学校生活協同組合

## 2018・8月号

石川県学校生活協黒字化3か年計画の最終年

### ようやく爽やかな秋の風がふきました。

—災害復興支援企画「つながろう応援活動」スタート—

今年は、2月の豪雪、7月の豪雨、8月の酷暑と、冬らしい冬、梅雨らしい梅雨、夏らしい夏それも強烈な気候がまさに私たちに襲いかかって来ました。あとは、秋らしい秋となるのですが、私の予想通り、多くの台風がやって来ています。8月21日時点ですでに20号です。

しかし、相手は自然ですから、いくら私たちがドタバタしてもなるようにしかありませんが、この台風の雨にしても、プラス面とマイナス面があります。プラスと言えば、この台風が降らす雨は、私たちの生活水の原料となりますからプラス面です。7月には、石川県内ほとんど雨が降りませんでしたから貯水池の水は不足気味です。ある程度の降水を望みます。しかし、このごろの雨の降り方は異状です。洪水やがけ崩れにまで至る降り方は、心配です。

でも、四季が明確な石川県の気候は、私は好きです。そして特に春と秋が好きです。その秋がようやくやってきました。秋の学校生活協の重点企画として、災害復興支援「つながろう応援活動」を実施いたします。震災復興に取り組む地域の商品を紹介するとともに、利用を呼びかけることで被災地の応援をすすめます。組合員の皆様、たくさんのご利用お願いいたします。



2018年度7月末 589万円の赤字。計画目標より22万円悪化です。

石川県学校生活協の2018年度7月末の経常損失金は▲589万円です。計画は▲567万円ですから▲22万円悪化しています。6月までは、計画よりも改善していたのですが、7月の供給業績が計画対比でなんと79.8%で、供給高にして1493万円の未達成です。特にチラシによる共同購入、リフォーム、代行売上がひどかったです。そのため剰余も激減です。年度末に黒字25万円をなんとか達成できますように頑張っているのですが、大変です。

みなさんの石川県学校生活協です。学校生活協をもっともっと利用してください。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

### 《学校生活協と私》 総務部長 宮一真実

入協時は学校巡回とコープ商品が支持され、供給高は右肩上がりの状態でした。93年〜99年まで20億円を超えていきましたが、近年は教育現場をめぐる環境が厳しさを増し、供給目標を達成できない状況が続いています。教職員の多忙化、学校現場での規制などさまざまな要因はありますが、これまで学校生活協を支えてくださった世代の組合員が退職され、若い世代の組合員と学校生活協との関係が希薄になっていくのが心配です。今後はこれからの学校生活協を支える若い世代の組合員の方々に支持される組織づくりを推しすすめます。

バブル景気が崩壊し、働く意欲があっても職につけない状況が続いていた90年代。有効求人倍率は1未満でした。少ない求人票の中に学校生活協があり、当時は香林坊にあった事務所で採用試験を受験しました。後からわかったことですが、教養問題は「先生」が作ったらしく、難しく苦戦したのを思い出します。あれから27年。事業・総務・経理などを経験させていただき、現在に至っています。

### 編集後記 秋冬野菜に取り掛かりましょう

源助大根の播種は、この石川県では8月20日〜9月10日と言われています。この文章を読まれた方は、その準備が終わっておれば、さすがと言えます。まだの人は、早急に肥料をやり、準備してください。でも、まだナスやキュウリ、オクラ、などが実をつけていると思います。いつそれらを終わらせるかは、ご自分で判断してください。しかし、10月初めには、大根や蕪の播種を終わらせましょう。また、法蓮草や小松菜、などの葉物もこれから播種したいものです。これも遅れると寒くなりすぎるので注意です。これらの葉物は、播種から2か月くらいで収穫できますから、9月に播種して、10月〜11月に収穫すると良いでしょう。キャベツ・白菜は、種からよりも苗を買って植えた方が、立派に育つと思いますから、苗が店に並んだら定植すると良いでしょう。さて、今年の冬はどんな冬になるのでしょうか。気候によって野菜の育ちも違ってきますが、寒ければ寒いほど甘い野菜が育ちます。お楽しみに！（ほその）